

琴 平 町

担 当 課	教育委員会 生涯教育課
住 所	仲多度郡琴平町榎井 891 番地 7
T E L ・ F A X	TEL 0877-75-6716 FAX 0877-75-4120

放 課 後 子 供 教 室 箇 所 数	3 教室		
放課後児童クラブとの連携状況	校内交流型	連携型	該当なし
	0 教室	0 教室	3 教室
地域学校協働活動推進員又は 地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー の 役 職 等 (人 数)	元学校支援ボランティアコーディネーター (1 人)		
協 働 活 動 支 援 員 人 数	15 人、90 人 (協働活動サポーター)		
推 進 ・ 運 営 委 員 会 委 員 数	45 人 (放課後子ども教室連絡会及びこんぴら子ども 塾運営委員会で代替)		

琴平小学校放課後子ども教室	
教 室 の 特 徴 ここがー押し・教室の自慢	地元の伝統文化や行事などを取り入れ、子どもたちに受け継いでほしいと指導者の方々は願っている。夏休みには難しい尺八に初めて挑戦し、空手では心身を鍛え礼儀を学んだ。
活 動 場 所	琴平小学校の余裕教室、体育館、運動場、町内他施設
活 動 日 ・ 時 間 ・ 実 施 回 数	放課後学級：給食のある平日の放課後～18 時・約 200 回 こんぴら子ども塾：水曜日 (不定期) 14 時 30 分～15 時 30 分、 長期休業日
活 動 内 容	「なかよし学級」 (自由学習・自由遊び)、「こんぴら子ども塾」 (地域の方々との体験交流活動)
教 室 の 充 実 に 向 け て	低学年から高学年までバランスよく興味が持てて、時間を持て余さないように工夫している。待ち時間などに騒がしくなることが多く、スタッフで注意を払っている。
登 録 児 童 数 ・ 平 均 参 加 人 数	登録 65 人、平均 35 人



〔尺八〕



〔空手〕

榎井小学校放課後子ども教室

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	おり紙やおやつ作りは毎年行っており、子どもたちから大人気のメニューで、指導者の方々は子どもたちの喜ぶ顔を楽しみにしている。夏休みには、3小学校合同でなぎなたを実施した。
活動場所	榎井小学校の余裕教室、体育館、運動場、町内他施設
活動日・時間・実施回数	放課後学級：給食のある平日の放課後～18時・約200回 こんぴら子ども塾：水曜日（不定期）15時15分～16時15分、長期休業日
活動内容	「えのき学級」（自由学習・自由遊び）、「こんぴら子ども塾」（地域の方々との体験交流活動）
教室の充実に向けて	指導者の方々が、低学年の子どもたちにも時間内に作業ができるように事前に準備してくださっている。子どもたちが好きそうなメニューを工夫して実施しており、毎回参加児童が多い。
登録児童数・平均参加人数	登録59人、平均35人



〔おり紙でくす玉を作ろう〕



〔なぎなた〕

象郷小学校放課後子ども教室

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	元気いっぱいな子どもたちの好奇心をそそるようなメニューを考えている。町内に生息する生きものについて学び、郷土の自然環境に触れた。また今年よりソフトバレーを始めた。
活動場所	象郷小学校の余裕教室、体育館、運動場、町内他施設
活動日・時間・実施回数	放課後学級：給食のある平日の放課後～18時・約200回 こんぴら子ども塾：水曜日（不定期）15時15分～16時15分、長期休業日
活動内容	「こじか学級」（自由学習・自由遊び）、「こんぴら子ども塾」（地域の方々との体験交流活動）
教室の充実に向けて	活発な子どもが多く、室内の作業では騒がしくならないように異学年を混ぜて班分けしている。スポーツでは、人数の多い時はケガのないようにスタッフの人数を増やして見守っている。
登録児童数・平均参加人数	登録67人、平均40人



〔森の生きもの観察会〕



〔ソフトバレー〕

子どもとのかかわり方の工夫

- 作品作りでは、子どもたちの個性を尊重し、なるべく自分の手で完成させている。
- スポーツでは定期的に休憩を入れ、水分補給や体調の確認を行っている。
- 室内ではどこか一か所でも扉を少し開けるなどして換気を行い、出席受付時には手指消毒を行っている。
- 子どもたちをある程度は黙認し、要所要所で注意を呼び掛けるようにしている。
- 上手にできていることは褒め、次の行動につながるような声掛けを心掛けている。
- 子どもたち皆が同じように体験できるように、またケガやトラブルを避けられるように、スタッフが各々全体を見渡して注意を払っている。

本事業における成果・今後の課題

【成果】

- ・放課後に友人と過ごす場所が少なくなっている昨今、共に宿題をしたり、遊んだりする貴重な機会になっている。
- ・異学年で交流することにより、子どもたちに社会性が身に付いて来ている。
- ・スポーツ体験では、子どもたちは元気いっぱい動き回り、日頃のストレスや運動不足を解消できる場にもなっていると思う。
- ・もの作りでは、子どもたちの作品を町の文化祭で展示し、保護者や町民の方々に広く成果を見ていただき、評価を得ている。
- ・指導者の方々は子どもたちとふれ合い、指導することに生きがいを感じてくださっており、子どもたちも学校外の大人と接し学べる意義を果たせているのではないかと思う。

【今後の課題】

- ・指導者と子どもの間での言葉や行動の解釈のズレにより生じる、保護者からの苦情や、指導者に対する対応。
- ・預かりにおいて、各教室の統括指導者が年齢的な理由や、その他の事情で退職した場合の後継者不足。
- ・児童の下校の方法は保護者の判断に委ねているが、心配なご家庭もあり、保護者に働きかけても改善されない場合に苦慮している。